

厳正な点呼の実施

点呼支援システムを導入し、飲酒検知・免許証確認、また、「健康チェックシート」の記入を義務付け健康確認、検温、風邪症状の有無を報告し、機械と点呼執行者によるダブルチェックをしています。



確実な車両点検

始業時の車両点検はもちろん、小さな異常も見逃すことがないように中間時にも車両点検を実施しています。



異常時への対応

万が一の事態に備え、救命講習と異常時実践訓練を実施し、全運転士、バスガイドが、緊急時に速やかな対応が出来るようにしています。



安全への取り組み詳細
運輸安全マネジメントは
こちらから▶



安全最優先



安全を追求することが私たちの最大の使命です

徹底した安全教育・技能教習

年間計画に基づき、外部施設での安全運転研修、冬山走行研修、教習コースでの実技教習等を実施しています。

また、インターネット運転適性診断システム「ナスバネット」を導入し、運転士個人の長所と短所を見出し、個人の特性に応じた適切な安全運転指導を行っています。



最新の安全装置

ドライバー異常対応システム (EDSS)

運転士が運転操作困難となった場合、運転席もしくは客席上部にある非常ブレーキスイッチを押すことで、速度制御を開始して徐々に速度を落とし停止します。



衝突被害軽減ブレーキ

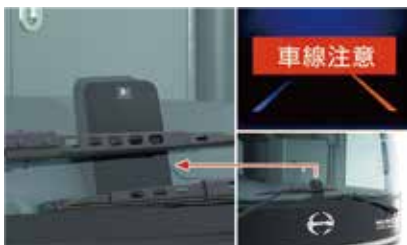
高精度ミリ波レーダーで車間距離を監視。衝突の恐れがある場合、警告音で注意を促し、衝突の可能性が高い場合はブレーキ制御で速度を低減します。



車線逸脱警報装置

全車装備

車線からの逸脱を画像センサーがとらえ、警告音によって運転士へ注意を喚起します。



運転教習車&災害指揮車 Sergeant Yellow (サージェントイエロー)

通常時は運転士養成のための教習車とし、災害時は、事業継続を推進させる役割を果たします。また、大型輸送時には全体の状況を把握し管理する司令塔として用いることも可能です。

